



2024 あけましておめでとうございます 本年も宜しくお願い申し上げます



写真：大協建設職員撮影

アマゴの発眼卵の放流が行われました！

昨年(2023)の12月3日(日)に大鹿村では初の試みとなるアマゴの発眼卵の放流が関係者により鹿塩川で行われました。小渋川支流の鹿塩川・青木川に卵放流(アマゴ)を行い、観光資源の維持・拡充と村内経済発展を図ることが目的で試験的に行われました。

発眼卵は、水温に敏感で受精してからの積算温度がおおよそ300°～330°に到達すると孵化してしまいます。今回放流用に用意された2万4000粒の卵の積算温度が290°程度で到着したため、12月2日(土)に予定を早めて1万4000粒を青木川へ、川へ穴を掘って石でフタをする『ジカ撒き』という方法で放流が行われました。

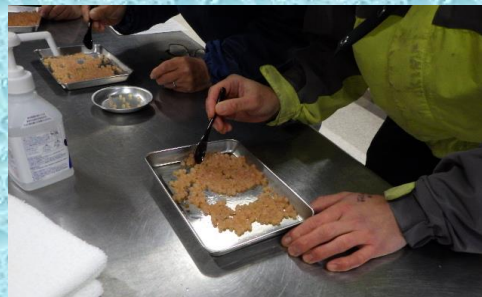
関係者による出発式



主催：下伊那漁業協同組合大鹿支部・大鹿村商工会青年部
共催：大鹿村・大鹿村観光協会

『検卵作業』

卵を一粒一粒、手作業で目視確認・選別し、死んでいる卵は取り除きます。



死んでいる卵の見極めは『白色の卵』です。

『卵をカゴへ入れる』

選別した卵をカゴの中へ潰さないよう慎重に入れ込みます。
卵を入れ終えたカゴはクーラーボックスで保存し放流箇所まで移動します。



1つのカゴへ約55gになるよう計量してカゴへ入れます。

裏面もご覧ください！

『鹿塩川へいよいよ放流作業です』



卵を入れたカゴの埋設場所は、川の水 flow で流されないよう支障になりにくい大きな石の下流側を選びます。埋設場所の河床の落ち葉やゴミ、苔を取り除き清掃します。



埋設箇所の清掃



埋設状況



石で囲いフタをします

カゴを川の中へ埋設します。カゴが流されないよう拳大の石で周りを囲い、カゴが見えなくなるよう石でフタをします。砂で埋めてしまうと卵が酸欠となり、カゴが見えた状態であると紫外線により卵が死滅してしまいます。川の水も冷たく大変な作業ですが参加者全員で協力して慎重に埋設作業を進めます。



埋設完了



無事埋設が完了し埋設箇所に目印となる石を設置します。人為的に埋設箇所が荒らされないよう注意看板を川へ設置します。初となるアマゴ発眼卵放流が完了しました。数年後には、立派に成長したアマゴになってほしいです。

塩川床固工群護岸工事：大協建設（株）より立入看板の製作・寄付に協力をさせていただきました。

小渋川砂防出張所管内の完成工事の紹介！

『令和4年度 天竜川水系沢戸地区護岸工事』

Yamaura 株式会社ヤマウラ



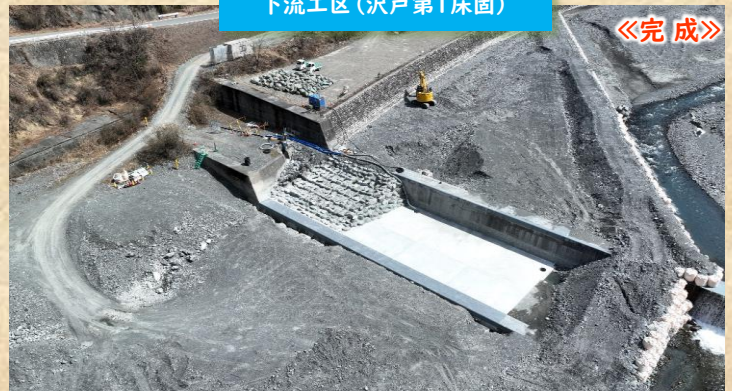
令和4年11月より施工を開始し、令和5年12月に無事完成しました。12ヵ月以上の長期にわたる施工期間中、地域住民の方々には大変ご迷惑をおかけしましたが、みなさまのご理解ご協力により、無事故無災害で工事を完了することができました。ご協力ありがとうございました。

上流工区（上蔵堰堤下流右岸）



《完成》

下流工区（沢戸第1床固）



《完成》